

厚生労働行政推進調査事業補助金(肝炎等克服政策研究事業)
「肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究」



2019

5月19日

13:00 ~ 15:00
(開場 12:30)

ホテルロイヤルオリオン
2F 大宴会場
「旭の間」

肝炎患者のおかれた 状況について考える 公開シンポジウム

肝炎ウイルス感染者の偏見や差別による被害防止への効果的な手法の確立に関する研究班では、肝炎対策基本指針において、肝炎患者等が不当な差別を受けることなく社会において安心して暮らせる環境づくりを目指すとしており、そのための具体的・効果的な手法の確立を目指した研究をおこなっています。

今回、一般市民、肝炎患者、医療従事者の方を対象として、肝炎患者の偏見や差別についてともに考える公開シンポジウムを開催いたします。

関心のある方に参加いただきたく思います。

研究班代表 八橋 弘
(国立病院機構長崎医療センター副院長)

プログラム

- 開会挨拶 八橋 弘
- 司会 四柳 宏
(東京大学医科学研究所 教授)
- ◆ 研究班報告 八橋 弘
- ◆ 偏見や差別に関する相談事例の紹介
米澤 敦子
(東京肝臓友の会 事務局長)
- 休憩 (13:40 ~ 14:00)
- パネルディスカッション
 - ◆ 司会 八橋 弘
米澤 敦子
 - ◆ パネリスト 四柳 宏
梁井 朱美
(全国B型肝炎訴訟九州原告団)
及川 綾子
(薬害肝炎全国原告団)
中島 康之
(全国B型肝炎訴訟大阪弁護士団 弁護士)
- 閉会挨拶 八橋 弘

先着 200名

参加費 無料・申込み 不要

*事前の申込みは不要ですが、
座席に限りがあるため、
200名に限定させていただきます。